



本当？うちのタオルが高級ホテル並みに変身

2009年10月7日放送

今回の番組について

いまデパートのタオル売り場には、**1枚2万円**もするバスタオルが並んでいます。これまで主に高級ホテルで使われていた、**ふんわり**としたタオルを家でも使いたいという人が増えてきているのです。でも、「そんな高級品なんて買えないよ」という方のために、ガッテンがタオルを徹底解剖したところ、ある方法で、ごく普通のタオルがふんわりとしたタオルに早変わりすることがわかったのです。毎日使うタオルだからこそ気持ちよく！

家庭のタオルが高級ホテル並みに変身する極意を紹介します。

番組ディレクターのひとこと

ひたすら待ち続けた日々

普通のタオルが、ふんわりタオルになる条件を探るため、毎朝、タオルを何十枚も洗濯し条件を変えて干し、午後、乾いたタオルの厚さを測る。これを何回も繰り返しました。料理の実験などとは違って、ひとつ結果が出るのに1日かかり。ひたすら乾くの待ちながらの実験でした。

🌟オープニングクイズ

- ・ 問題：タオルが日本に入ってきた明治初期、タオルは主にどのように使われていたか？

答え：寒さを防ぐマフラー。やわらかく、保温性が高いタオルは当時、マフラーとして使われた。

- ・ 問題：この人、笹川勇さんが1枚のおしぼりを使ってできる特技とは？



答え：全部正解！（腹筋運動、ダンベル、土下座、ひざまくら）笹川さんは1枚のおしぼりを使っていろんなモノを作ってしまうおしぼりアーティスト。これらは、ほんの一例。



- ・ 問題：タオルの表面にはパイルと呼ばれるループがある。縦65cm、横130cmのバスタオルにあるループの数を1秒に1個ずつ数えていくとかかる時間は？

答え：10日半。ループの数は、91万3680個。1秒に1個数えても10日半かかる。

🌟ふんわり感のカギは「ループ」

ある団地の皆さんに、普段使っているタオルを持って集まってもらいました。皆さんが持ってきたタオルは、相当長く使い込んでいるようで、硬くなっていたり、ゴワゴワしていたり。

そんなタオルが、ふんわり感を取り戻すかどうか、タオル選びの達人「タオルソムリエ」に見てもらったところ、何と、長年使い込んだタオルでも復活できるという判定が！

そこで、皆さんのタオルをお借りして、ある方法で復活を試み、皆さんの家にお持ちしたところ、

「わぁ、気持ちいい！」

「ホテルのタオルみたい！」

など歓喜の嵐。

実は、タオルのふんわり感は、タオルのパイルと呼ばれるループによって生み出されています。手や顔をタオルに押しつけたときに、ループはバネのようになって受け止めてくれます。それがふんわり感の仕組み。

ところが、タオルを使っているうちにループが絡まってしまったり、倒れてしまったりして、だんだんふんわり感が低下していきます。

しかし、ある方法で、このループを起こしさえすれば、ふんわり感は大幅にアップするのです。

★ふんわりの秘密「パタパタ」

タオルのふんわり感に重要なループ。しかし、タオルを洗濯した直後のループは、あちこちを向いて倒れた状態になっています。この状態ですと、そのまま乾いてしまい、ゴワゴワとした仕上がりになってしまいます。そこで、干す前にループを起こすことがポイントになります。パタパタとタオルを振って、倒れていたループを本来の起きた状態にするのです。

繊維はぬれているときは形を変えやすく、乾いてしまうと形が変わりにくくなります。そのため、ぬれている間にループを起こして整列させておくことがカギになるのです。

では、何回パタパタと振れば良いのか？ガッテンで実験したところ、パタパタの回数が、20回まで回数を増やすほど厚さが増し、ふんわり感もアップしていくことが確かめられました。

(タオルによって効果に違いがあります。また、タオルを振ったときに、まれに縫い目がほつれることがありますので、タオルの長い辺を持って振ってください。)

★目を見てなでて、ふんわりタオルに

20回パタパタをするのは大変という方のために、もっと簡単な方法をご紹介します。それは、タオルの目を見ること。実は、タオルにはループの向きがスムーズに流れる方向「順目（じゅんめ）」と、引っかかる方向「逆目（さかめ）」があります。洗濯の後、タオルを5回ほど振って、洗濯で絡まったループを整列させます。そして、バスタオルなら物干し竿に掛けて、フェイスタオルなら手の上で、逆目の方向に優しくなでます。両面をまんべんなくなで干せばOK。20回のパタパタと同じ効果があります。

★嫌なニオイの原因になっている習慣は？

せっかくふんわりと仕上げたタオルなのに、臭かったら台無し。

そこで、タオルのニオイが気になるというある家庭で、タオルの使い方を見てみたところ、意外な習慣がタオルのニオイの原因になっていました。

その習慣とは、「使ったタオルをすぐに洗濯機に入れる」「たくさんの衣類と一緒に洗濯」「脱衣所の洗面台の下に保管」でした。

ニオイは、タオルに付いた皮脂などの汚れがバクテリアによって分解されると発生します。バクテリアは、湿度が高いと増殖しますので、湿度の高い洗濯機の中は、バクテリアにとっては増殖には好条件。また、たくさんの衣類と一緒に洗濯すると、衣類についた汚れが完全に落ちずにバクテリアのエサとなってしまうため、これもよくありません。そして、意外な盲点が、脱衣所の洗面台の下にタオルを保管すること。脱衣所は湿度が高く、せっかく干して乾かしたタオルに湿気が付いてしまうのです。これらのことに気をつけていれば、タオルが嫌なニオイにならずにすむのです。

【実習コーナー】 ホテルのようなタオルのたたみ方「フレンチ折り」

ふんわりと仕上げたタオルを
さらに高級ホテルのように見せるたたみ方が、
高級ホテルで行われている「フレンチ折り」というたたみ方。

1.まず、短い辺を3等分に折ります。



2.つぎにタオルの長い辺を3等分し、さらに2等分すれば、



3.フレンチ折りの出来上がり。



高級ホテルのような気分を楽しんでください。

